

水道管の漏水防止のために

東日本大震災以後、市民の皆さんの宅内にある水道管（給水管）からの漏水が多くなっています。

給水管は、水道使用者の所有物であり、使用者の責任のもと管理をすることになっています。漏水時の水道料金・修理費は、使用者の負担になりますので、漏水防止のため、時々メーターを点検しましょう。

【漏水の調べ方・対策】

①水道の蛇口を全部締めて、水道メーターのパイロットを確認します。

②パイロットが回っていると、漏水の可能性がありますが、市指定の水道事業者に連絡して、調査修理してください。



パイロット

【漏水に対する水道料金の減免について】

減免の対象となる漏水

・使用者の善意な管理のもとに生じた地下漏水・床下漏水、その他漏水発見が困難な場所の漏水であること

※蛇口およびボイラーなどから

の漏水については、対象外です。

減免水量の算出方法
 (検針水量－平均使用水量) × 1/2

平均使用水量とは

漏水の時期、水道使用の経過・実績などを勘案して次に定める水量の内、最も適当なるものを適用いたします。

- ・最近の3期間の平均使用水量
- ・最近の6期間の平均使用水量
- ・前年度同期分の使用水量
- ・前期分の使用水量

また、公共下水道料金についても減免水量を引いた水量で算出いたします。

■申請先／水道課（真壁庁舎、総合窓口課（岩瀬・大和庁舎）へ、減免申請書を提出してください。なお、申請には指定給水装置工事事業者の証明が必要になります。

■問合せ／水道課（☎581-5111・7513111代表）

あなた 市民が主役のまちづくり

vol.12

「みんなが元気になるために何かしたい」

震災後、初めての復興ライブが、9月4日、西岡本店の蔵で開催されました。

主催したのは、平成22年8月に誕生したばかりのまちづくり団体「桜川本物づくり委員会」（西岡勇一郎代表）の皆さん。

同委員会は、桜川市内で生産される農作物などを材料に、新たな特産品づくりにチャレンジしています。

今年も真壁高校とも連携し、「産」と「学」が連携した特産品づくりに発展しています。

こうした中、特産品づくりだけでなく、先の東日本大震災で蔵などが被災し、やや元気のなくなった真壁の皆さんを励ますべく、同委員会が震災復興ライブを計画しました。

出演者は、つくば市を中心に活躍するマンドリン奏者のトリオリミックスと、プロのギタリ

企画課市民協働推進室（桜川市羽田989-1 桜川市大和ふれあいセンター「シトラス」内）
 ☎0296-2016300



酒蔵を使っての幻想的な空間で震災後初のコンサートは行われました。

▼震災復興ライブ▼

スト吉川忠英さんです。

マンドリンやギターの澄んだ音色が会場内に響き渡り、観客の皆さんは音楽に合わせ、手拍子や合唱したりと楽しいひとときを過ごしていました。

市民の皆さんが自ら企画したこのライブは復興の力強い一歩となることでしょう。震災から半年が過ぎ、徐々にではありませんが、「市民が主役のまちづくり」も動き始めました。

FPの日フォーラム2011 in 県西

評判のFP(嶋氏・岩永氏)がやってくる!!

暮らしに役立つセミナー(6本) & 相談(4組)

日時 10月22日(土) 午後1時～5時

会場 県西生涯学習センター(筑西市野殿1371)

申込み・お問い合わせ

日本FP協会茨城支部

☎ 029-302-5320
 FAX 029-302-5330

